

## 第2章 和歌山県の概況

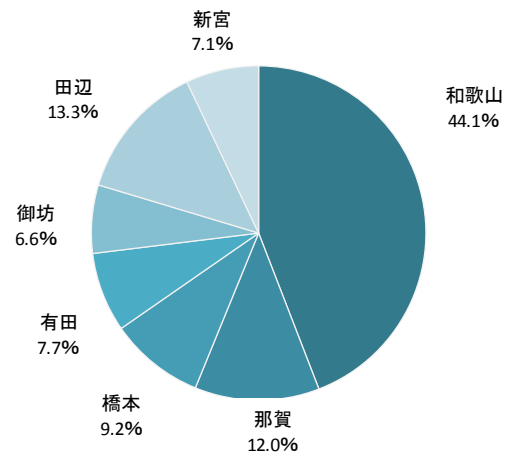
### 1. 人口構造

- 平成 27 年「国勢調査」による本県の総人口は、96 万 3,579 人です。男女別では男 45 万 3,216 人、女 51 万 363 人です。
- 地域別に見ると、県の北部に人口が集中しており、県庁所在地である和歌山市を含む和歌山保健医療圏には総人口の 44.1%が、和歌山・那賀・橋本各二次保健医療圏の人口を合わせると県総人口の 65.3%が集中しています。

〔 二次保健医療圏別人口・県人口に占める割合 〕

二次保健医療圏	総数(人)		
	男性	女性	
和歌山	199,613	225,607	425,220
那賀	55,233	60,835	116,068
橋本	41,551	46,791	88,342
有田	34,916	39,339	74,255
御坊	30,307	33,296	63,603
田辺	60,187	67,974	128,161
新宮	31,409	36,521	67,930
県計	453,216	510,363	963,579

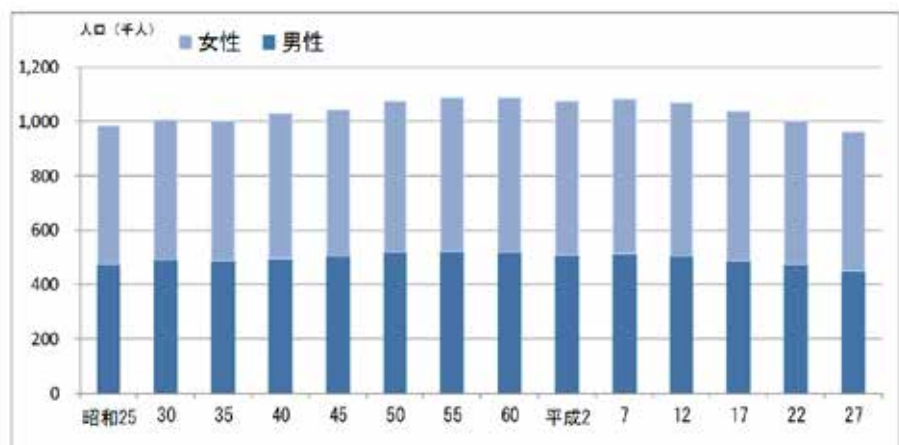
総務省「平成 27 年国勢調査」



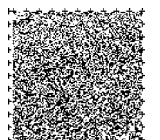
- 人口の推移を見ると、昭和 20 年代から徐々に増加し、昭和 30 年国勢調査で 100 万人を越えましたが、昭和 60 年国勢調査をピークに、以降は減少傾向となっています。

〔 和歌山県人口の推移 〕

年次	総人口
昭和 25	982,113
30	1,006,819
35	1,002,191
40	1,026,975
45	1,042,736
50	1,072,118
55	1,087,012
60	1,087,206
平成 2	1,074,325
7	1,080,435
12	1,069,912
17	1,035,969
22	1,002,198
27	963,579



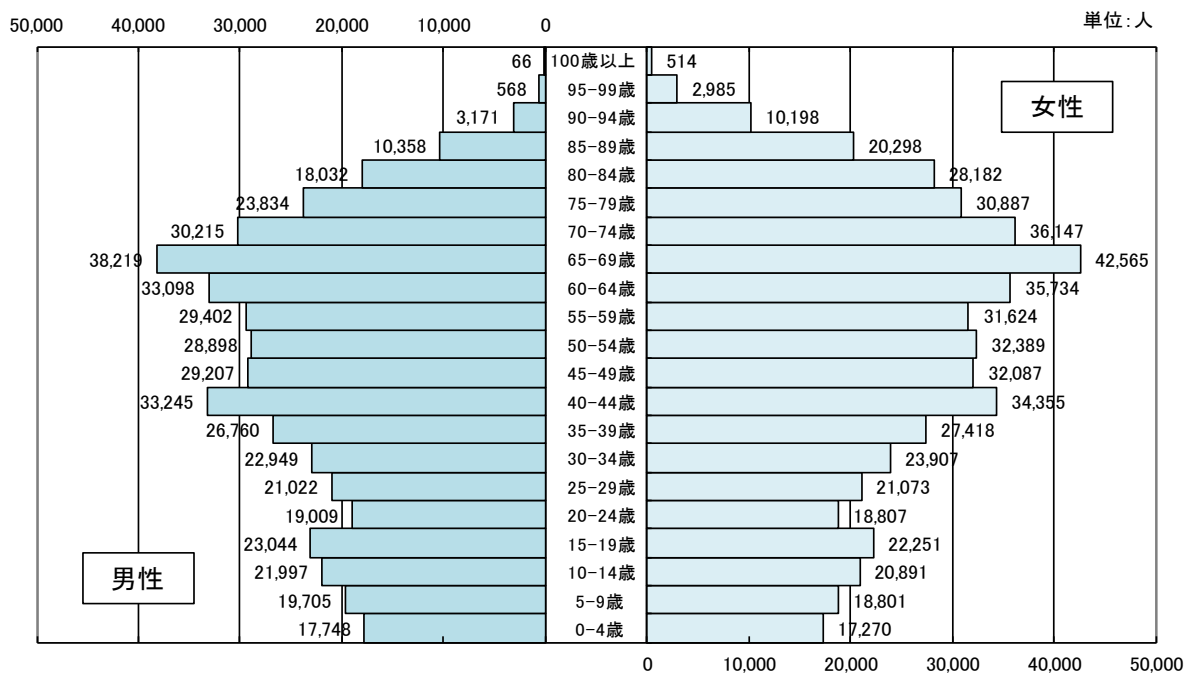
総務省「国勢調査」



○ 平成27年「国勢調査」における人口ピラミッドは、下記に示すとおり出生児数の減少に伴い裾の狭い「つぼ型」となっています。総人口における年齢別人口の割合は、年少人口（15歳未満）は12.1%、生産年齢人口（15歳～64歳）は57.0%、老年人口（65歳以上）は30.9%で、平均年齢は48.7歳となっています。

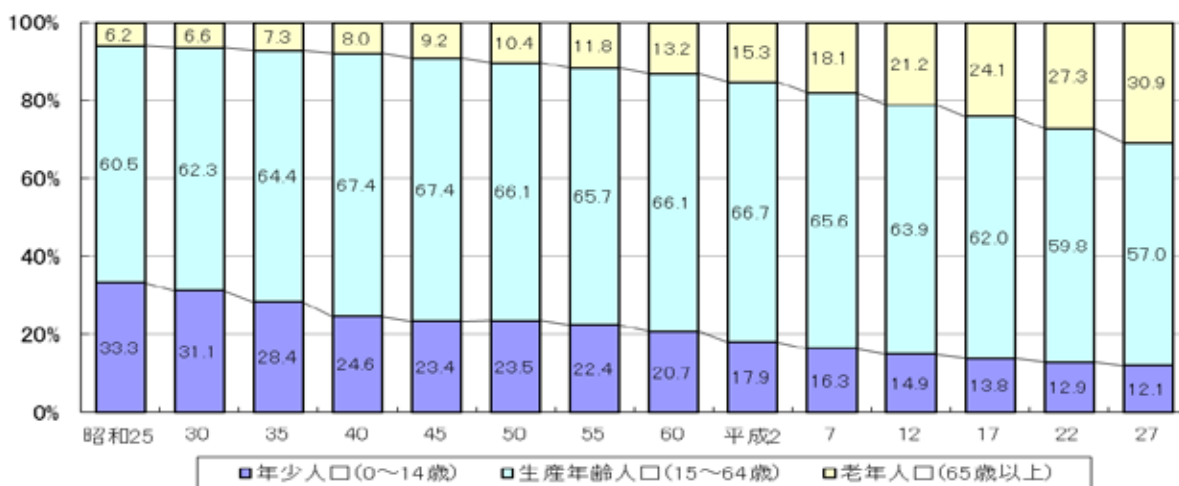
年少人口の占める割合は、出生率の低下などにより年々減少し、逆に老年人口の占める割合は平均寿命の延びなどにより増加しています。

〔 和歌山県の人口ピラミッド 〕

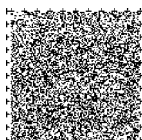


総務省「平成27年国勢調査」

〔 年齢3区分別人口割合の年次推移 〕



総務省「国勢調査」



## 〔 市町村別人口・高齢化率 〕

二次医療圏	市町村	総数(人)			年齢構成(人)			高齢化率(※)
		男	女	0~14歳	15~64歳	65歳以上		
和歌山	和歌山市	364,154	171,215	192,939	44,519	211,753	105,954	26.1%
	海南市	51,860	24,175	27,685	5,659	28,330	17,625	34.1%
	紀美野町	9,206	4,223	4,983	707	4,433	4,065	44.2%
	小計	425,220	199,613	225,607	50,885	244,516	127,644	30.2%
那賀	紀の川市	62,616	29,515	33,101	7,526	36,199	18,663	29.9%
	岩出市	53,452	25,718	27,734	8,065	33,537	11,180	21.2%
	小計	116,068	55,233	60,835	15,591	69,736	29,843	25.9%
橋本	橋本市	63,621	29,923	33,698	7,770	37,244	18,434	29.1%
	かつらぎ町	16,992	7,867	9,125	1,792	8,936	6,242	36.8%
	九度山町	4,377	2,016	2,361	361	2,169	1,845	42.2%
	高野町	3,352	1,745	1,607	242	1,798	1,304	39.0%
	小計	88,342	41,551	46,791	10,165	50,147	27,825	31.6%
有田	有田市	28,470	13,453	15,017	3,351	16,059	8,972	31.6%
	湯浅町	12,200	5,705	6,495	1,445	6,738	4,000	32.8%
	広川町	7,224	3,379	3,845	915	4,018	2,276	31.6%
	有田川町	26,361	12,379	13,982	3,387	14,546	8,370	31.8%
	小計	74,255	34,916	39,339	9,098	41,361	23,618	31.9%
御坊	御坊市	24,801	11,976	12,825	3,057	14,462	7,118	28.9%
	美浜町	7,480	3,445	4,035	822	4,150	2,495	33.4%
	日高町	7,641	3,617	4,024	1,194	4,196	2,248	29.4%
	由良町	5,837	2,858	2,979	632	3,147	2,055	35.2%
	印南町	8,068	3,783	4,285	1,021	4,262	2,785	34.5%
	日高川町	9,776	4,628	5,148	1,217	5,197	3,360	34.4%
小計	63,603	30,307	33,296	7,943	35,414	20,061	31.6%	
田辺	田辺市	74,770	35,108	39,662	9,229	41,901	23,289	31.3%
	みなべ町	12,742	6,062	6,680	1,759	7,124	3,850	30.2%
	白浜町	21,533	9,933	11,600	2,272	11,245	7,934	37.0%
	上富田町	14,989	7,118	7,871	2,125	9,090	3,699	24.8%
	すさみ町	4,127	1,966	2,161	350	1,844	1,933	46.8%
	小計	128,161	60,187	67,974	15,735	71,204	40,705	31.9%
新宮	新宮市	29,331	13,586	15,745	3,349	15,401	10,126	35.1%
	那智勝浦町	15,682	7,182	8,500	1,620	7,738	6,315	40.3%
	太地町	3,087	1,395	1,692	265	1,535	1,287	41.7%
	古座川町	2,826	1,275	1,551	221	1,116	1,489	52.7%
	北山村	446	200	246	34	198	214	48.0%
	串本町	16,558	7,771	8,787	1,506	7,913	7,112	43.0%
	小計	67,930	31,409	36,521	6,995	33,901	26,543	39.4%
県計	963,579	453,216	510,363	116,412	546,279	296,239	30.9%	

総務省「平成27年国勢調査」

※高齢化率の算出方法＝ $\frac{65歳以上人口}{(全人口-1歳未満人口)} \times 100(\%)$

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

参考資料

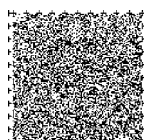
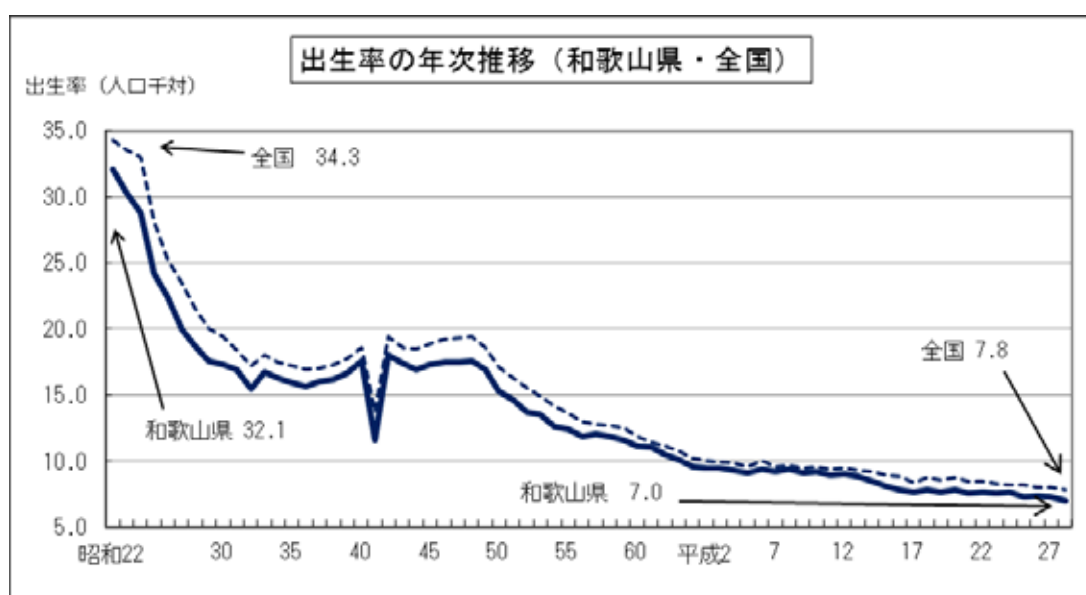
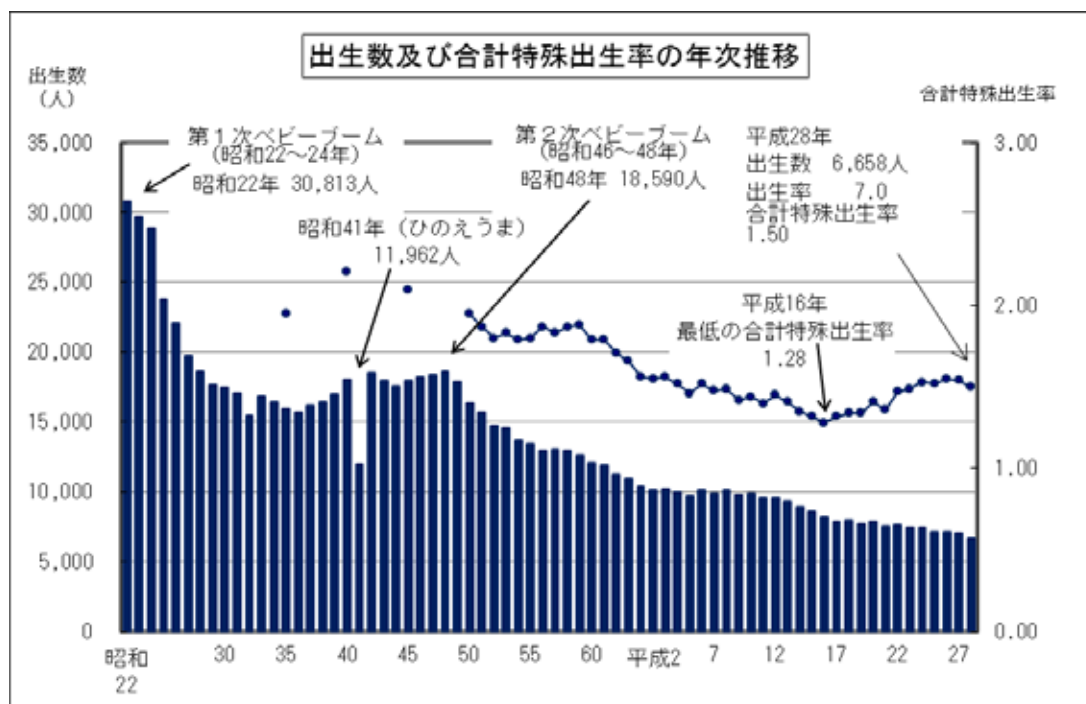
## 2. 人口動態

### 出生

○ 平成28年における本県の出生数は6,658人、人口千対の出生率は7.0で、全国と比較すると、常に低率で推移しています。

合計特殊出生率については、全国値を上回っているものの、最近5年は1.5台でほぼ横ばいです。

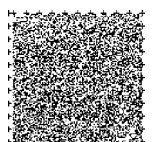
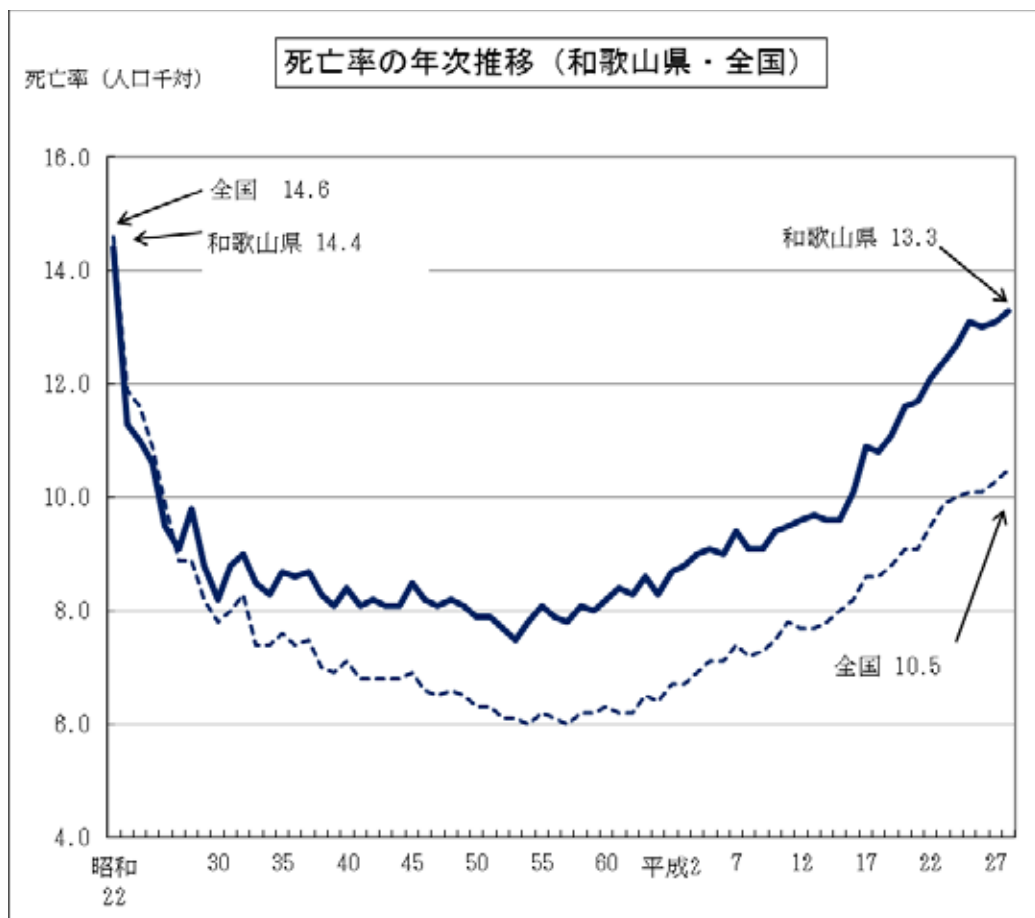
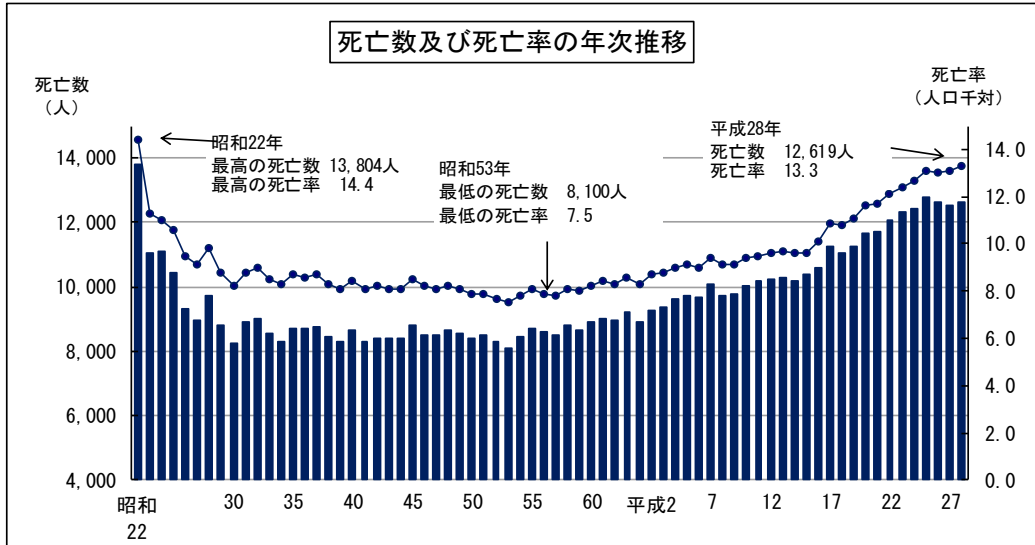
昭和50年以降、出生数は減少を続け、平成に入ってから、増加と減少を繰り返しながら、減少傾向にあります。



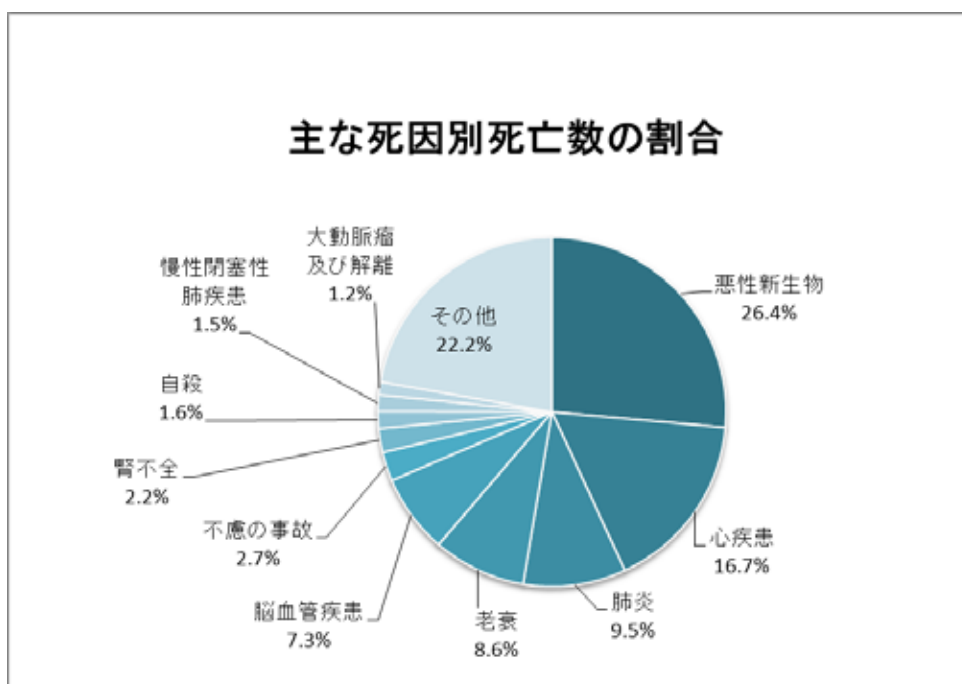
## 死亡

○ 平成28年における本県の死亡数は1万2,619人、人口千対の死亡率は13.3で、全国よりも高率です。

本県の死亡率は、昭和30年代からほぼ横ばいで推移してきましたが、昭和50年代中頃から増加傾向にあり、近年は死亡数1万人を越えています。

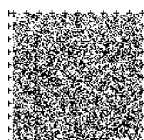
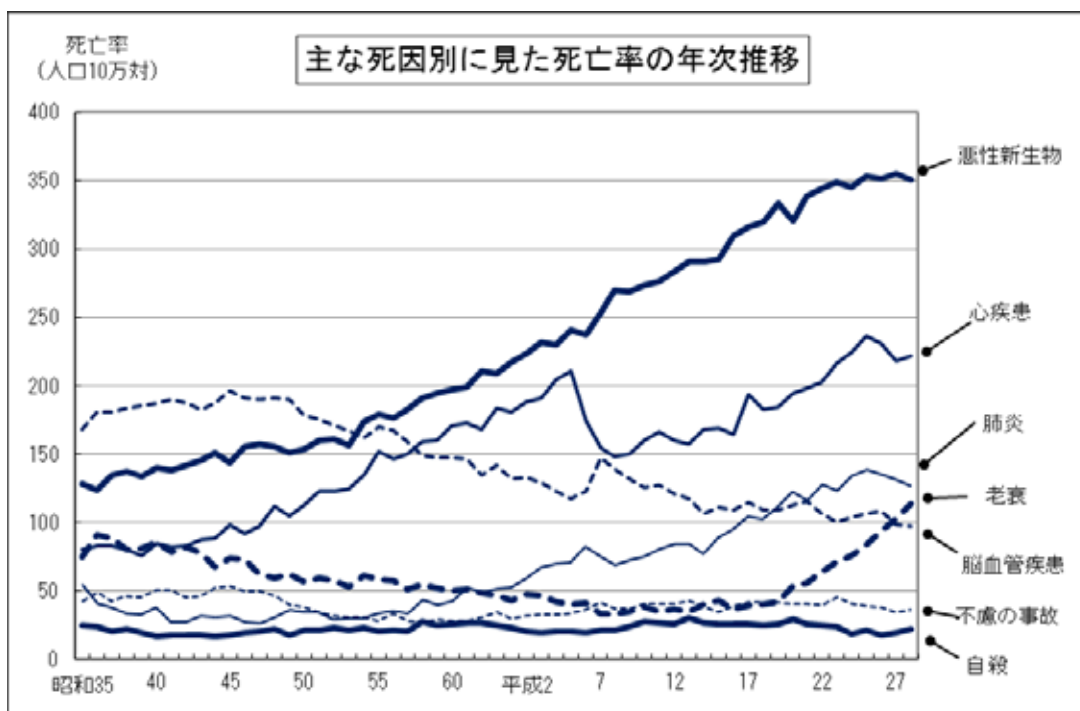


- 平成 28 年における本県の死因別死亡率は、第 1 位が悪性新生物（26.4%）、第 2 位は心疾患（16.7%）、第 3 位は肺炎（9.5%）です。



- 年次推移をみると、昭和 20 年代後半から死因の第 1 位にあった脳血管疾患が、昭和 40 年代後半から徐々に減少してきました。逆に悪性新生物と心疾患は増加傾向を示し、昭和 58 年からは悪性新生物が 1 位、心疾患が 2 位となっています。

また、悪性新生物、心疾患等は全国と比べて高い死亡率となっています。

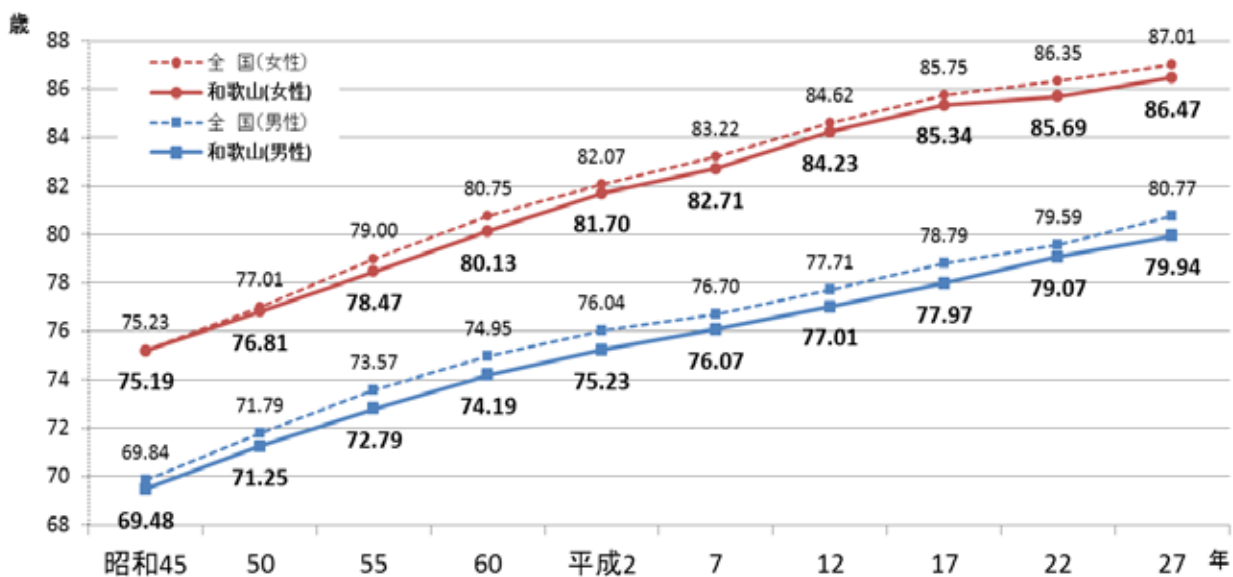


## 平均寿命

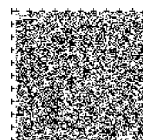
○ 男性、女性とも全国平均を下回って推移しています。平成27年の和歌山県の平均寿命は男79.94歳、女86.47歳となっています。

〔 平均寿命の推移 〕

	和歌山県		全国	
	男	女	男	女
昭和45	69.48	75.19	69.84	75.23
50	71.25	76.81	71.79	77.01
55	72.79	78.47	73.57	79.00
60	74.19	80.13	74.95	80.75
平成2	75.23	81.70	76.04	82.07
7	76.07	82.71	76.70	83.22
12	77.01	84.23	77.71	84.62
17	77.97	85.34	78.79	85.75
22	79.07	85.69	79.59	86.35
27	79.94	86.47	80.77	87.01

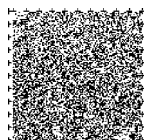


厚生労働省「都道府県生命表」「完全生命表」



### 3. 受療動向

- 県内の受療動向に関して、平成27年度の「NDB（ナショナルデータベース）のレセプトデータ<sup>\*1</sup>」によると、県内二次保健医療圏の入院患者の動向は、総じて、医療施設が集中している和歌山保健医療圏に入院患者が集中する傾向にあり、とりわけ、那賀・有田保健医療圏から和歌山保健医療圏への患者流出が見られます。
- また橋本保健医療圏では、奈良県（南和圏域）から患者流入が見られ、大阪府（南河内圏域）への患者流出が見られる状況にあります。
- 一方、御坊・田辺・新宮保健医療圏においても、それぞれに隣接する圏域を中心として患者流出入が見られるところであり、新宮圏域においては隣接する三重県（東紀州圏域）から患者流入が見られます。
- 上述の、「患者流出」（入院患者を中心に見て、いずれの圏域に所在する医療機関に患者が流出しているか）及び「患者流入」（各圏域に所在する医療機関を中心に見て、いずれの圏域に住所地を持つ患者が入院しているか）の状況を可視化すると、次ページ以降のようになります。
- また、主要疾病等に係る自己完結率（受療動向）の詳細に関しても、次ページ以降に示すとおりです。

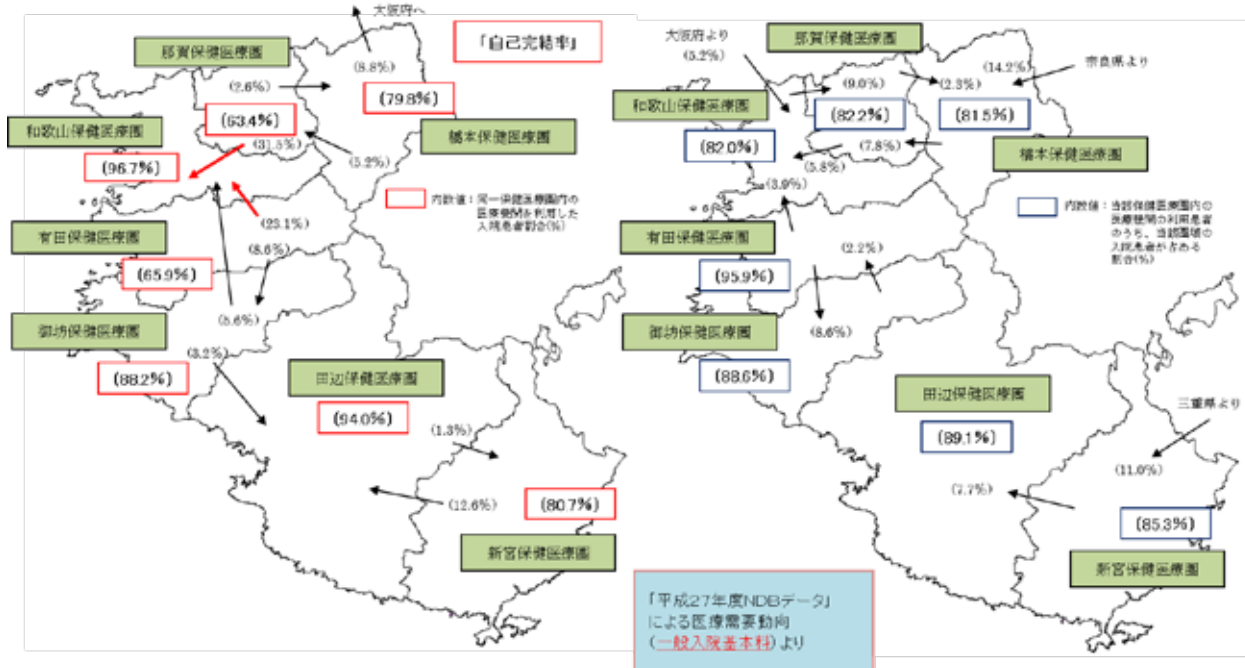




## 和歌山県における現状の患者流出入のすがた

### 患者流出のイメージ

### 患者流入のイメージ



### 【（1）基本診療体制に係る自己完結率】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
一般入院基本料	入院	96.7%	63.4%	79.8%	65.9%	88.2%	94.0%	80.7%
一般入院基本料(7, 10対1)(再掲)	入院	96.7%	62.1%	80.6%	66.2%	87.3%	94.8%	80.6%
一般入院基本料(13, 15対1)(再掲)	入院	97.0%	87.7%	0.0%	65.8%	93.6%	79.2%	79.6%
療養病棟入院基本料	入院	87.6%	73.9%	4.1%	83.8%	69.9%	83.2%	95.0%
精神病棟入院基本料	入院	71.1%	20.6%	26.6%	65.7%	67.3%	63.9%	70.6%

【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

【 (2) 「がん」に係る自己完結率 】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
胃がん	入院	91.7%	60.4%	62.4%	59.8%	80.1%	94.6%	73.0%
	外来	98.1%	78.4%	80.6%	76.3%	91.0%	95.8%	89.3%
大腸がん	入院	97.3%	71.3%	60.7%	75.5%	89.7%	96.0%	79.3%
	外来	97.2%	79.6%	79.0%	78.6%	90.0%	94.7%	88.2%
肺がん	入院	96.8%	72.7%	60.1%	33.1%	86.2%	94.1%	68.5%
	外来	97.6%	71.9%	63.6%	44.6%	85.8%	92.0%	79.9%
乳がん	入院	93.2%	53.1%	82.6%	29.4%	59.1%	85.9%	57.0%
	外来	96.1%	63.9%	88.9%	51.3%	82.9%	94.4%	80.0%
肝がん	入院	97.1%	61.1%	61.4%	60.9%	75.2%	90.6%	73.1%
	外来	98.1%	64.9%	67.9%	57.5%	89.5%	89.2%	76.5%
化学療法	入院	98.0%	37.7%	35.2%	23.3%	51.0%	85.9%	44.1%
	外来	97.5%	47.7%	47.4%	22.9%	70.5%	90.5%	66.3%
放射線治療	入院	97.0%	48.8%	40.5%	0.0%	50.0%	100.0%	31.7%
	外来	96.1%	74.0%	72.9%	0.0%	74.5%	100.0%	75.4%

【 (3) 「脳卒中」に係る自己完結率 】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
脳卒中	入院	94.8%	74.7%	69.5%	66.5%	85.3%	90.8%	87.7%
	外来	97.9%	78.2%	90.9%	88.4%	92.3%	96.8%	93.4%
脳卒中に対するリハビリテーション	入院	92.8%	81.5%	64.9%	59.8%	90.2%	94.5%	82.4%
	外来	99.6%	53.1%	83.9%	58.9%	96.0%	98.2%	92.0%

【 (4) 「急性心筋梗塞」に係る自己完結率 】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
急性心筋梗塞	入院	95.0%	57.5%	79.2%	44.4%	100.0%	94.1%	86.3%
	外来	98.3%	71.9%	84.6%	83.3%	91.6%	97.4%	96.9%
狭心症	入院	93.5%	65.2%	63.5%	60.9%	84.5%	88.9%	84.2%
	外来	98.0%	76.0%	87.4%	87.0%	95.7%	96.5%	95.0%

【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

## 【（5）「糖尿病」に係る自己完結率】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
糖尿病	入院	93.6%	62.3%	66.2%	63.2%	78.8%	83.9%	83.5%
	外来	97.8%	78.4%	87.1%	85.5%	92.8%	95.9%	93.6%
糖尿病の人工透析	外来	97.5%	89.2%	61.5%	97.5%	97.8%	87.7%	98.2%

## 【（6）「精神疾患」に係る自己完結率】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
入院精神療法	入院	70.3%	33.3%	45.2%	51.5%	55.4%	48.3%	75.7%
精神科救急入院	入院	43.2%	55.4%	80.5%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%
うつ病	入院	84.3%	51.6%	62.1%	58.2%	66.1%	71.7%	83.1%
	外来	95.1%	60.6%	86.6%	77.9%	86.3%	93.7%	86.8%
家族通院精神療法	外来	90.9%	61.5%	66.4%	76.4%	42.1%	91.4%	42.0%

## 【（7）「救急医療」に係る自己完結率】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
2次救急	入院	96.6%	77.9%	81.7%	39.8%	92.6%	94.7%	91.7%
夜間休日救急搬送	入院	97.0%	81.4%	89.4%	59.6%	100.0%	100.0%	100.0%
集中治療室等の体制	入院	96.1%	0.0%	76.8%	0.0%	63.1%	93.3%	0.0%

## 【（8）「小児医療」に係る自己完結率】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
小児外来診療体制	外来	95.7%	87.8%	84.5%	80.3%	90.7%	97.7%	95.9%
小児夜間・休日診療体制	外来	98.2%	69.2%	73.8%	73.0%	93.2%	97.4%	99.0%
小児の入院医療体制	入院	96.6%	71.0%	73.0%	0.0%	78.2%	79.1%	0.0%
重症児の入院医療体制	入院	89.6%	74.7%	39.5%	87.7%	54.6%	19.2%	75.8%

【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

【 (9) 「在宅医療」に係る自己完結率 】

指標名	入外区分	二次医療圏						
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
訪問診療(居宅)	外来	96.4%	81.2%	91.4%	82.3%	98.6%	96.3%	97.5%
訪問看護提供	外来	85.2%	42.5%	98.8%	97.2%	91.5%	100.0%	96.3%
往診	外来	95.5%	83.6%	92.5%	93.0%	97.0%	94.1%	96.6%
緊急往診	外来	97.9%	90.1%	92.1%	80.6%	100.0%	95.5%	100.0%
看取り	外来	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

○ 医療の供給量に着目した「SCR（年齢調整標準化レセプト出現比<sup>※2</sup>）で県内の状況を分析すると、下記に示すとおりとなっています。

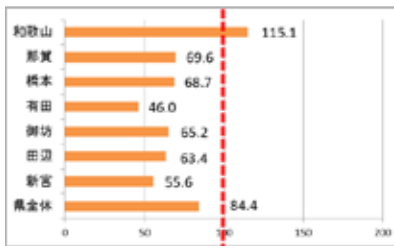
【 (1) 基本診療体制に係るSCRについて 】



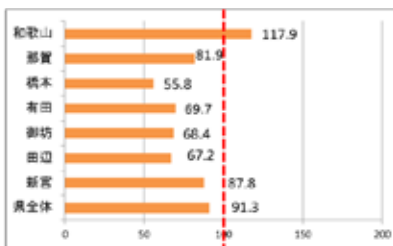
【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

【 (2)「がん」に係るSCRについて 】

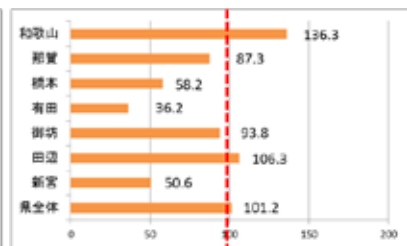
①胃がん（入院）



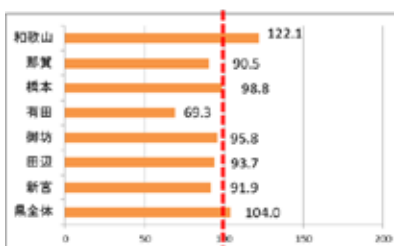
③大腸がん（入院）



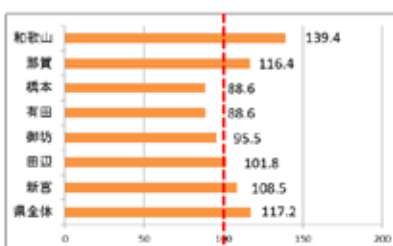
⑤肺がん（入院）



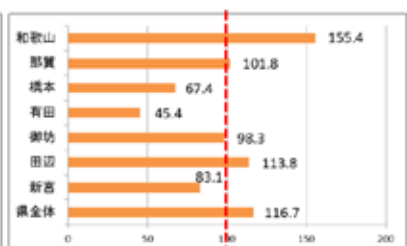
②胃がん（外来）



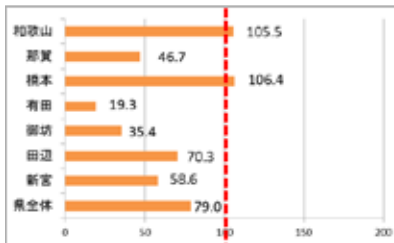
④大腸がん（外来）



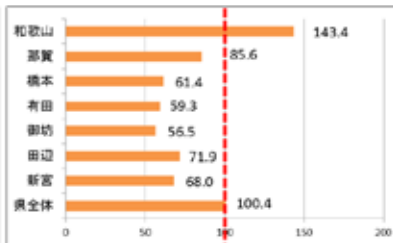
⑥肺がん（外来）



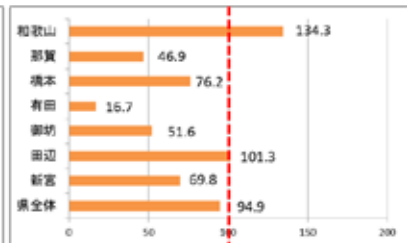
⑦乳がん（入院）



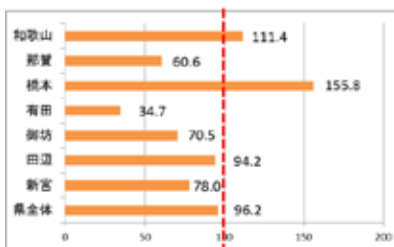
⑨肝がん（入院）



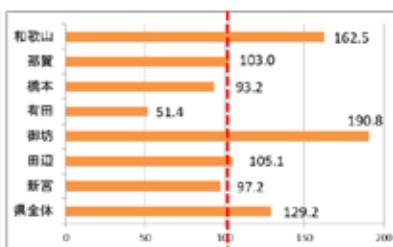
⑪化学療法（外来）



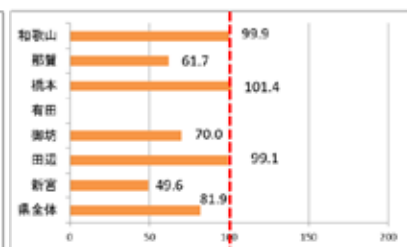
⑧乳がん（外来）



⑩肝がん（外来）



⑫放射線治療（外来）



【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

【 (3) 「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」に係るSCRについて 】



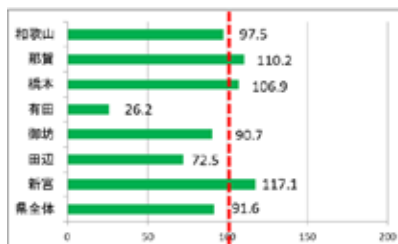
【 (4) 「精神疾患」に係るSCRについて 】



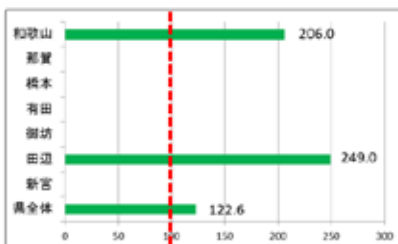
【データ出典】厚生労働省「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度診療分レセプトデータに基づく

## 【 (5) 主要事業に係るSCRについて 】

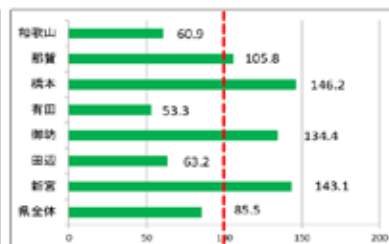
## ①救急医療（2次救急）



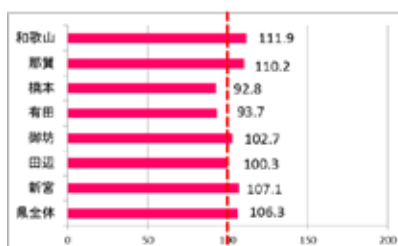
## ②救急医療（3次救急）



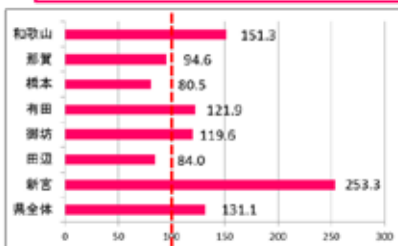
## ③夜間休日救急搬送



## ④小児外来診療体制



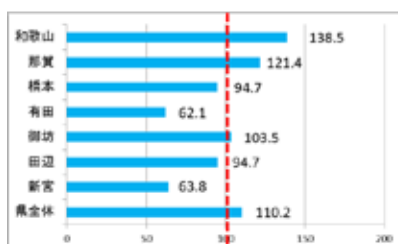
## ⑤小児夜間・休日診療体制（外来）



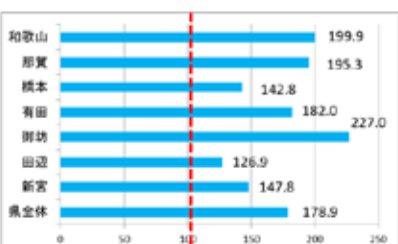
## 【データ出典】

厚生労働省  
「医療計画作成支援データブック」  
2015（平成27）年度  
診療分レセプトデータに基づく

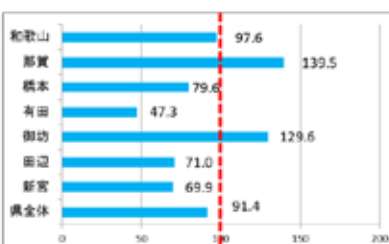
## ①在宅医療（訪問診療（居宅））



## ②在宅医療（往診）



## ③在宅医療（緊急往診）



## ■用語の説明

## ※1 NDB（ナショナルデータベース）のレセプトデータ

NDB（National Database）とは、レセプト情報及び特定健診等情報データベースの呼称。「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定により、厚生労働大臣が医療保険者等より収集するレセプト（診療報酬明細書及び調剤報酬明細書）に関する情報をNDBに格納し、管理しているもの。

## ※2 SCR（年齢調整標準化レセプト出現比）

SCR（Standardized Claim Ratio（年齢調整標準化レセプト出現比））とは、各指標のレセプト件数を、当該地域が全国と同じ年齢構成、人口と仮定した場合に想定される全国平均のレセプト数で除した指数。

100 を全国平均とし、それ以上ではレセプト数が多い（医療機能が充実等）ことを、またそれ以下の場合ではレセプト数が少ない（医療機能が不足等）ことを意味する。

ただし、流入が考慮されていない指数であるため、流入超過の地域では出現比が高く、一方、流出超過の地域では出現比が低くなる傾向がある。

## 4. 医療施設の状況

- 病院数は微減、診療所は微増傾向にあります。

人口 10 万対で比較すると、病院、診療所とも全国の数値を超えています、特に一般診療所は全国の数値を大きく上回り、都道府県別で全国第 1 位（平成 28 年 10 月 1 日現在）となっています。

		平成 14 年	17 年	20 年	23 年	26 年	27 年	28 年	人口 10 万対 (28 年)
病院	和歌山	91	91	92	92	86	86	83	8.7
	全 国	9,187	9,026	8,794	8,605	8,493	8,480	8,442	6.7
一般 診療所	和歌山	1,075	1,083	1,070	1,059	1,070	1,065	1,056	110.7
	全 国	94,819	97,442	99,083	99,547	100,461	100,995	101,529	80.0
歯科 診療所	和歌山	561	560	554	550	554	552	547	57.3
	全 国	65,073	66,732	67,779	68,156	68,592	68,737	68,940	54.3

厚生労働省「医療施設調査」

### 〔 二次保健医療圏別 病院・診療所数 〕

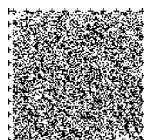
	病 院				一般 診療所	歯科 診療所
	施設数 計	精神科 病院	一般 病院	療養病床を 有する(再掲)		
和歌山保健医療圏	43	3	40	20	512	271
那賀保健医療圏	8	1	7	4	104	50
橋本保健医療圏	5	1	4	1	94	48
有田保健医療圏	6	1	5	4	77	36
御坊保健医療圏	4	-	4	1	67	30
田辺保健医療圏	9	1	8	5	130	61
新宮保健医療圏	8	1	7	5	72	51
計	83	8	75	40	1,056	547

厚生労働省「平成 28 年 医療施設調査」

### 〔 二次保健医療圏別 病院・診療所の病床数 〕

	病 院						一般診療所	
	病床数 計	精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	病床数 計	療養病床 (再掲)
和歌山保健医療圏	6,431	825	8	-	1,163	4,435	582	22
那賀保健医療圏	1,214	221	4	-	329	660	121	18
橋本保健医療圏	896	120	4	-	108	664	77	30
有田保健医療圏	931	300	4	-	235	392	71	16
御坊保健医療圏	996	100	4	15	51	826	37	16
田辺保健医療圏	1,760	198	4	-	549	1,009	123	39
新宮保健医療圏	1,277	335	4	-	346	592	110	12
計	13,505	2,099	32	15	2,781	8,578	1,121	153

厚生労働省「平成 28 年 医療施設調査」





## 5. 保健医療に関する県民の意識

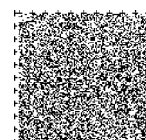
- 第七次和歌山県保健医療計画など、今後の保健医療行政推進の参考とするため、「保健医療に関する県民意識調査」（以下、「県民意識調査」という。）を実施しました。調査の概要、主な内容及び結果については、以下のとおりです。

### 〔 調査の概要 〕

調査対象者	満 20 歳から満 79 歳までの県民 4,000 人
抽出方法	住民基本台帳に基づき、市町村別・年齢層別に無作為抽出 (基準日：平成 29 年 6 月 1 日)
調査期間	平成 29 年 7 月 19 日～平成 29 年 8 月 4 日
調査方法	調査票の郵送によるアンケート方式（設問数：55）
配布数	4,000（うち未達分を除く有効配布数：3,982）
回答数	2,093
回収率	52.6%（＝回答数／有効配布数）

### 〔 主な調査内容 〕

主な調査項目	主な内容
県民の受療行動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平時及び急病時の受療行動</li> <li>・ 訪問診療や往診を受けた経験</li> <li>・ 医療機関に望むこと</li> </ul>
医薬品に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関する意識等</li> </ul>
医療費に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年間に支払った医療費の金額を知っているか</li> </ul>
小児医療に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子ども救急相談ダイヤル（＃8000）」の認知度</li> </ul>
かかりつけ医等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かかりつけの医師、歯科医師及び薬局の有無</li> </ul>
健診等（健康診断や人間ドック）の受診状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診等の受診状況</li> <li>・ 健診等を受けなかった方については、その理由</li> </ul>
健康づくりの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康づくりのため特に気をつけていること</li> <li>・ 健康づくりのための運動の実行</li> </ul>
がん検診の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん検診の受診状況</li> <li>・ がん検診を受けない理由として考えられるもの</li> </ul>
がん治療に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「セカンド・オピニオン」の認知度</li> <li>・ 「緩和ケア」についての認識</li> </ul>
「人生の最終段階における医療」に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死期が近い場合の医療について</li> <li>・ 延命治療を望むか否か</li> <li>・ 人生の最期をどのように過ごすか</li> </ul>
医療の提供体制に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関の役割分担について</li> <li>・ 地域で不足している診療科等</li> <li>・ 在宅医療等や介護の受け入れ</li> </ul>
地域医療の施策に関する要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の地域医療の施策に望むこと</li> </ul>



## 〔 調査の結果 〕

### 今後の保健医療施策に反映させる事項

- かかりつけ医師・歯科医師の普及 …… 「持っている」は、いずれも全体の約 70%
- かかりつけ薬局の普及 …… 「持っている」は、全体の約 40%
- 後発医薬品への理解向上 …… 「今後、処方してもらいたい」は、全体の約 80%
- 子ども救急相談ダイヤル(#8000)の周知 …… 「知っている」は、全体の約 20%
- 健診受診の啓発 …… 受診者は、全体の約 70% (国民健康保険の被保険者では、約 60%)
- 健康づくりのための運動の普及 …… 「運動をしていない」は、全体の 34% (「1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上のペースで 1 年以上継続」という条件では、「していない」は約 70%)
- 「オーラルフレイル」の認知度向上 …… 「知っている」は、全体の約 5%
- 健康推進員の活動活性化 …… 健康推進員の認知度は、全体の約 20%
- がん検診受診の啓発 …… 5がん(肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がん)の各がん検診受診者は、いずれも約 40%
- セカンド・オピニオンの普及 …… がん治療では、「知っている」は、全体の 36%
- 緩和ケアの周知 …… 「知らない」は、全体の約 24%
- 人生最終段階の医療についての啓発 …… 「話し合ったことがない」は、全体の約 55%  
「延命治療を望まない」は、全体の約 85%
- 在宅医療の充実 …… 「自宅で療養したい」は、全体の約 70%
- 不足診療科の整備 …… 産婦人科が全体の約 20%で 1 位
- 医療機関の役割分担の推進 …… 「賛成」は、全体の約 75%  
地域医療構想の認知度は、全体の約 20%
- 地域医療の充実 …… 「住み慣れた地域で、質の高い医療を受けたい」は、全体の約 72%
- 医療費についての情報提供 …… 「自分の医療費の額を知っている」は、全体の約半数

### 医療機関・行政への主な要望(自由意見を含む)

- 病気の状態や治療方法についてよく説明してほしい
- 診察までの待ち時間を短くしてほしい
- 緊急の時は、休日や夜間でも診察してほしい
- 病気の状態に応じて、専門の医療機関に紹介してほしい
- 安易に薬を出し過ぎではないか
- 在宅医療を充実してほしい
- 総合的な医療を充実してほしい
- 医療従事者の資質向上をしてほしい
- へき地医療を充実してほしい
- 医療費の負担が大きい
- 住民への啓発は重要
- 子供の時からの健康教育を充実

### 設問ごとの回答状況

和歌山県庁医務課のホームページに掲載しています。  
URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/imuka/ishikichousa.html>

